

地域計画実現事業

各市町で地区選定に向け協議

7月号で既報のとおり農業会議が府事業を受託して実施する「地域計画実現対策支援事業」は高槻市、田尻町、能勢町、太子町の4市町で対象地区を選定した。今回これらに加えて、6月17日から7月9日にかけて、羽曳野市、河南町、松原市で農業委員・推進委員や農業委員会事務局、市町担当者へ、事業目的や調査手順等を説明し、これ

ら3市町で、調査対象として4地域を選定した。

地区選定にあたっては、地域計画策定のために行った意向調査で「農地を貸したい」と回答した地権者がまとまっている地域や、「無回答」などでも、地域の農業委員や推進委員から「この地域の地権者は農地を貸したいと考えている。条件など詳細な意向を確認すればどう

か」などのアドバイスを頂いた地域などを選定した。

加えて、貸し付けた農地が水害に遭遇しないよう洪水浸水想定区域から外れた地域から選定することで、安心してハウスなどを整備できるようにするといった町もあった。

また、既に地区選定した2市町で、6月23日に高槻市、7月2日、4日に田尻町で農家調査を実施した。その結果、高槻市奈佐原地区では「農地を貸したい」とする地権者の詳細条件を確認し、その上で、同席した地域の農業委員から「隣接する農

地所有者は自己耕作の意思が高く、当該農地を中心とした面的利用は困難である」との情報があつたため、当該地権者による聞き取りのみで農地カルテを完成させた。

引き続き、対象地区が確定しているこれら7市町で調査に向けて農委事務局等と対象農家や日程を調整するとともに、事業要望のあつた残る3市町村と事業実施に向け調整を進めていく。

(藤岡)



羽曳野市での説明の様子



参加した女性委員らは熱心に説明に耳を傾けた

7年度第1回 女性委員研修

農委制度、農地法を研修

農業会議は7月1日、令和7年度第1回女性農業委員会委員研修会を開き、府内の女性農業委員・農地利用最適化推進委員16人が出席した。

中谷会長は冒頭、大阪や和歌山を除く全国42府県では女性委員の組織が女性の登用促進を進めており、全国農業会議所会長からも組織化を呼びかける話があつたことを紹介。まずは委員同士の交流を深めてほしい、とあいさつした。

研修会では農業委員会制度及び農地法をテーマに研修した。

農業委員会制度については、農委組織の成り立ちや平成28年の組織改革、女性委員登用に關する法制度上の位置づけについて説明。女性委員の組織化については、あくまで手段であり、目的は第5次男女共同参画基本計画に掲げられている農業委員に占める女性の割合3割を達成し、地域農業の活性化につなげることであると強調した。

また、農地法については、許可基準の変遷や、近年の転用案件の傾向等について説明した。

(田村)

女性委員研修の開催予定

農業会議では、今年度の事業計画に基づき、女性農業委員・農地利用最適化推進委員の研修・交流活動の充実を図ることとし、今後3回の開催を予定している。今後の予定は次の通り。

【開催予定・内容】

○第2回

とき 令和7年9月26日(金)
場所 滋賀県内(現地視察)

内容 ファーマーズ・マーケットおうみんちの見学、湖国女性農業・推進委員協議会との交流・意見交換会

○第3回

とき 12月上旬・中旬(予定)

場所 大阪市内予定

内容 他府県女性委員の講演・意見交換会

○第4回

とき 2月上旬(予定)

場所 大阪市内予定

内容 講演・意見交換会

